



紺屋物語 — 浜染工房の115年

浜染工房は、諏訪の紺屋「紫屋」で修業した濱茂人が、旧城下町・松本市で明治44年に開業した紺屋です。初代茂人は、草木染の命名者・山崎斌が昭和4年に松本市に開設した信濃工芸指導所においても染色主任として指導にあたり、太平洋戦争後は二代岸治とともに藍染、草木染の再興に尽力しました。その後、もっとも困難な技法のひとつである藍染の型染を生業として専業し、現在、三代完治が営む浜染工房は、日本でも数少ない伝統的な加温醗酵建を続けている長野県唯一の紺屋で、型染を中心とした高い技術によって作品を作り続けています。

複雑な文様を繊細な色相で染め上げ、寒冷地ならではの冴えた白地に映える藍色の美しさは100年を超える歴史を有する蓄積と洗練によって生み出されたものです。本展で、浜染工房の歴史を物語る資料や藍染作品を展示し、藍染の奥深い染色技術を紹介します。



濱完治《おもかげ》2022年 全国伝統的工芸品公募展入選



濱完治《夢重ね》



濱完治《鶏頭唐草》



濱伶史《凍雪》2019年 長野県工芸展



濱岸治《亀甲花文》



山崎斌 草木染信濃地機展覧会役員一覧 1930年

交通案内

- JR高崎駅下車。市内循環バス「ぐるりん」観音山線で約30分。
- 高崎駅から5.1km、タクシーで約15分。
- 高速道路のご利用は関越自動車道「前橋」「高崎」「高崎玉村スマート」、上信越自動車道「藤岡」「吉井」の各ICより約30～40分。
- 染料植物園駐車場(170台)のほか、染色工芸館に思いやり駐車場(3台)があります。

「ぐるりん」観音山線 時刻表(高崎駅西口8番のりば)

●系統番号13 農二・染料植物園コース

高崎駅西口	8:32	9:51	11:10	12:29	14:18	15:47
染料植物園入口	8:51	10:10	11:29	12:48	14:37	16:06
高崎駅西口	9:31	10:50	12:09	13:28	15:17	16:46

●系統番号14 片岡・観音山コース

高崎駅西口	8:47	10:06	11:25	12:44	14:33	16:02
染料植物園入口	9:19	10:38	11:57	13:16	15:05	16:34
高崎駅西口	9:46	11:05	12:24	13:43	15:32	17:01

高崎市染料植物園

〒370-0865 群馬県高崎市寺尾町2302-11 TEL:027-328-6808 FAX:027-328-6818
mail:senryou@city.takasaki.gunma.jp HP:https://www.city.takasaki.gunma.jp/site/senryou/

